近江貝塚研第 324 回例会「陽明文庫所蔵史料と松尾大社所蔵史料の料紙における構成物の変化」関連データ

渋谷綾子 (東京大学史料編纂所)

このファイルは、2020 年 11 月 21 日(土)近江貝塚研第 324 回例会(オンライン)の資料作成に使用した R マークダウンのコードである。

Fig1・Fig2 は、松尾大社社蔵史料と陽明文庫所蔵史料の料紙面積(サイズ)と構成物量の相関を検討したものである。Fig3~5 は、松尾大社社蔵史料と陽明文庫所蔵史料に含有されたデンプン粒、鉱物、細胞組織、繊維に対する主成分分析の結果を示し、Fig6~8 は陽明文庫所蔵史料について、調査史料における料紙面積と構成物(合計)の相関分析の結果である。さらに、Fig9~11 は松尾大社社蔵史料の、Fig11~14 は陽明文庫所蔵史料の料紙構成物(デンプン粒、鉱物、細胞組織、繊維、ほか)に対する因子分析のコードを示す。

Fig15・16 は、松尾大社社蔵史料の年代と細胞組織/柔組織、繊維の含有量について、それぞれ撮影 1 箇所あたりの計測数を表す。2018 年度・2019 年度の調査史料 63 点における含有状況であり、松尾大社のすべての史料を網羅しているわけではないことを断っておく。

現生標本(イネ、アワ、キビ、ヒエ)と松尾大社社蔵史料で確認された料紙のデンプン粒(イネ、トロロアオイ、種不明)について、Fig17 は同じく現生標本と陽明文庫所蔵史料で確認された料紙のデンプン粒(イネ、トロロアオイ、種不明)について、粒径の比較・検討を行い、それぞれの特徴を可視化した。デンプン粒の粒径範囲は標本によって左右されるが(藤本 1994)、現生標本は渋谷(2010)で計測したデータ(任意で 20 個抽出)にもとづくものである。松尾大社社蔵史料の料紙におけるデンプン粒は、調査史料 63 点の撮影箇所における計測結果を用いており、イネ 223 個、トロロアオイ 30 個、種不明 106 個である。Fig18 の陽明文庫所蔵史料の料紙のデンプン粒は、調査史料 89 点の撮影箇所における計測結果を用いており、イネ 329 個(函番号 11:89 個、函番号 47:223 個、函番号 132:17 個)、トロロアオイ 111 個(函番号 11:49 個、函番号 47:42 個、函番号 47:20 個)、種不明 3 個(函番号 11 のみ)である。

パッケージの読み込み

library(ggplot2)

library(readr)

library(tidyverse)

library(knitr)

library(rmarkdown)

library(revealjs)

```
library(scales)
library(reshape2)
library(ggfortify)
```

料紙面積と構成物の相関分析(無相関検定)

松尾大社社蔵史料

帰無仮説 H_0 : 母相関は 0 である「調査史料では料紙面積と構成物に相関がない」 対立仮説 H_1 : 母相関は 0 ではない「調査史料では料紙面積と構成物に相関がある」

```
対立仮説 H<sub>1</sub>:母相関は 0 ではない「調査史料では料紙面積と構成物に相関がある」
tbs1 <- read csv("matsunoo-square.csv") # CSV ファイルの読み取り
tbs1 # 読み込んだデータ
# A tibble: 239 x 4
  目録番号 紙素材 料紙面積 構成物合計
    <dbl> <chr> <dbl> <dbl> <dbl>
      1 コウゾ
1
               1546.
                          15
       1 コウゾ
2
               1546.
                           20
       1 コウゾ
3
               1546.
                           6
      2 コウゾ
4
                2014.
                          90
5
      2 コウゾ
                2014.
                         43
      2 コウゾ
6
                2014.
                          40
7
      2 コウゾ
                2014.
                          75
      2 コウゾ
8
                2014.
                          43
       2 コウゾ
9
                2014.
                          87
       2 コウゾ
10
                          72
                2014.
# ... with 229 more rows
# 構成物の種類を実数型に変換
tbs2 <-
 tbs1 %>%
 filter(紙素材 %in% "コウゾ") %>% # コウゾだけを選択
 mutate(
   面積 = as.numeric(料紙面積), # 料紙面積を実数に変換
   構成物合計 = as.numeric(構成物合計)) # 構成物合計を実数に変換
# 料紙面積と構成物合計の相関係数と無相関検定
attach(tbs2)
cor(構成物合計,料紙面積, method="spearman") # スピアマンの相関係数
[1] 0.4178254
```

cor.test(構成物合計,料紙面積, method="pearson") # 無相関かどうかの検定

Pearson's product-moment correlation

data: 構成物合計 and 料紙面積

t = 4.5859, df = 235, p-value = 7.352e-06

alternative hypothesis: true correlation is not equal to 0

95 percent confidence interval:

0.1652044 0.3994431

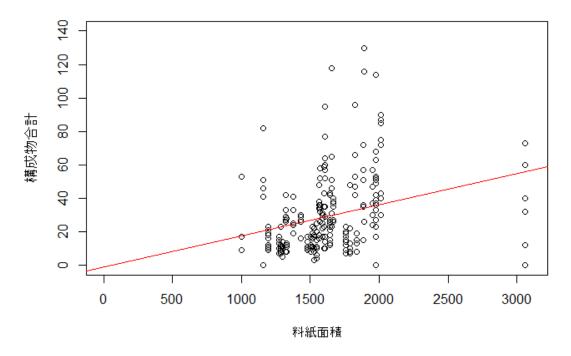
sample estimates:

cor

0.2866011

plot(料紙面積,構成物合計, xlim=c(0,3100), ylim=c(0,140)) # xlim と ylim で範囲を指定

abline(lm(構成物合計~料紙面積), col="red") # 回帰直線を入れる→Fig1 として保存



関係数が 0.4178254 であり、帰無仮説「調査史料では料紙面積と構成物に相関がない」は棄却されない(正の相関がある)。

陽明文庫所蔵史料

帰無仮説 H_0 : 母相関は 0 である「調査史料では料紙面積と構成物に相関がない」 対立仮説 H_1 : 母相関は 0 ではない「調査史料では料紙面積と構成物に相関がある」

```
tbs3 <- read_csv("yomei-square.csv") # CSV ファイルの読み取り
tbs3 # 読み込んだデータ
# A tibble: 320 x 4
  目録番号 紙素材 料紙面積 構成物合計
    <dbl> <chr> <dbl> <dbl> <dbl>
1
       1 コウゾ
                1546.
                           15
       1 コウゾ 1546.
                           20
2
              1546.
      1 コウゾ
3
                          6
      2 コウゾ
4
                2014.
                          90
      2 コウゾ
5
                2014.
                          43
      2 コウゾ
               2014.
                          40
      2 コウゾ
                2014.
                          75
      2 コウゾ
8
                2014.
                          43
9
      2 コウゾ
                2014.
                          87
       2 コウゾ
                           72
10
                2014.
# ... with 310 more rows
# 構成物の種類を実数型に変換
tbs4 <-
 tbs3 %>%
 filter(紙素材 %in% "コウゾ") %>% # コウゾだけを選択
 mutate(
   面積 = as.numeric(料紙面積), # 料紙面積を実数に変換
   構成物合計 = as.numeric(構成物合計)) # 構成物合計を実数に変換
# 料紙面積と構成物合計の相関係数と無相関検定
attach(tbs4)
cor(構成物合計,料紙面積, method="spearman") # スピアマンの相関係数
[1] -0.01682827
cor.test(構成物合計,料紙面積, method="pearson") # 無相関かどうかの検定
   Pearson's product-moment correlation
data: 構成物合計 and 料紙面積
t = -1.7943, df = 316, p-value = 0.07371
```

alternative hypothesis: true correlation is not equal to 0 95 percent confidence interval:

-0.208115457 0.009661945

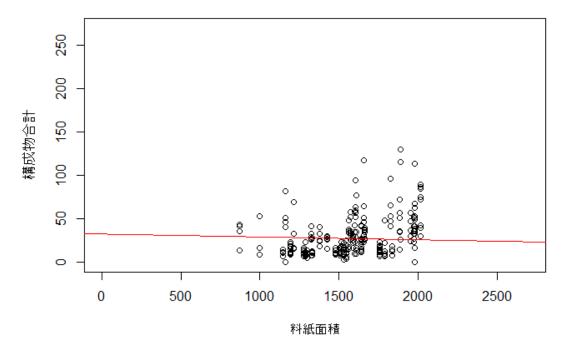
sample estimates:

cor

-0.1004295

plot(料紙面積,構成物合計, xlim=c(0,2700), ylim=c(0,270)) # xlim と ylim で範囲を指定

abline(lm(構成物合計~料紙面積), col="red") # 回帰直線を入れる→Fig2 として保存



関係数が-0.186486であり、対立仮説「調査史料では料紙面積と構成物に相関がある」は棄却される(ほとんど相関はない)。

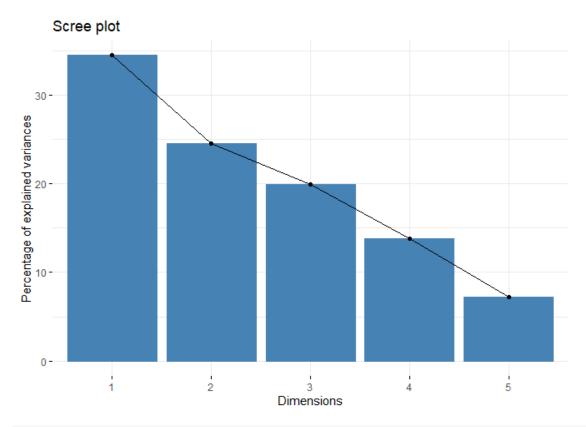
相

料紙構成物に対する主成分分析

松尾大社社蔵史料

tbs5 <- read_csv("matsunoo-compo.csv") # CSV ファイルの読み取り tbs5 # 読み込んだデータ

```
# A tibble: 63 x 7
  目録番号 紙素材 デンプン粒 鉱物 細胞組織 繊維 ほか
                               <dbl> <dbl> <dbl>
                   <dbl> <dbl>
     <dbl> <chr>
        1 コウゾ
1
                      0
                           0
                                  0
                                       0
                                           41
        2 コウゾ
 2
                      0
                           0
                                 497
                                       6
                                           62
        3 コウゾ
 3
                      2
                           6
                                 263
                                       0
                                            0
        4 コウゾ
 4
                      0
                                       5
                                            0
                           1
                                 236
        5 コウゾ
 5
                      0
                           0
                                 207
                                       6
                                            0
 6
        6 コウゾ
                      0
                           0
                                 207
                                       6
                                            0
 7
        7 コウゾ
                      0
                                 348
                                       9
                                            0
 8
        8 コウゾ
                      0
                           0
                                 194
                                       9
                                            0
9
        9 コウゾ
                      0
                                 326
                                       8
10
       10 宿紙
                     20
                           0
                                 35
                                       4
                                            0
# ... with 53 more rows
# 構成物の種類を実数型に変換
tbs6 <-
 tbs5 %>%
 filter(紙素材 %in% "コウゾ") %>%
                            # コウゾだけを選択
 select(デンプン粒,鉱物,細胞組織,繊維,ほか) %>%
 mutate(
   デンプン粒 = as.numeric(デンプン粒), # デンプン粒を実数に変換
   鉱物 = as.numeric(鉱物),
                              # 鉱物を実数に変換
   細胞組織 = as.numeric(細胞組織),
                              # 細胞組織を実数に変換
                               # 繊維を実数に変換
   繊維 = as.numeric(繊維),
   ほか = as.numeric(ほか))
                              # ほか(他の物質)を実数に変換
# 主成分分析を行うパッケージ FactoMineR を読み込み、主成分分析を実行
library(FactoMineR)
# 主成分分析を実行
res.pca <-
 PCA(tbs6,graph = FALSE)
# 多変量解析の可視化に特化した factoextra パッケージ
library(factoextra)
# 各主成分の寄与率を描画
fviz screeplot(res.pca)
```



```
ggsave(file = "Fig3.png", width = 6, height = 6, dpi = 300) # ファイルの保
存
# 主成分分析の概要を表示
summary(res.pca)
Call:
PCA(X = tbs6, graph = FALSE)
Eigenvalues
                      Dim.1
                              Dim.2
                                      Dim.3
                                              Dim.4
                                                     Dim.5
Variance
                      1.724
                                      0.994
                                              0.692
                                                     0.361
                              1.229
% of var.
                     34.480
                             24.580
                                     19.880
                                             13.848
                                                     7.211
Cumulative % of var.
                     34.480
                             59.060
                                            92.789 100.000
                                     78.940
Individuals (the 10 first)
         Dist
                 Dim.1
                          ctr
                                cos2
                                        Dim.2
                                                              Dim.3
                                                 ctr
                                                       cos2
ctr
      3.149 | -1.780 3.170 0.320 | 0.052 0.004
                                                     0.000 | -2.021 7.
1
081
```

```
2
     5.492 | 1.109 1.230 0.041 | 3.626 18.443 0.436 | -2.647 12.
156
3
     2.592 | -0.358 0.128 0.019 | 0.687 0.663
                                                 0.070 | 2.121 7.
802
4
     | 1.233 | 1.144 1.310 0.862 |
                                     0.206
                                           0.060
                                                  0.028
                                                          0.383
                                                                0.
255
                      1.773 0.972
                                     0.008
                                           0.000
5
     1.350
                1.331
                                                  0.000
                                                          0.018
                                                                0.
001
6
     1.350
                1.331
                      1.773 0.972
                                     0.008
                                           0.000
                                                  0.000
                                                          0.018
001
                2.554
                      6.522
                            0.889 | 0.892
                                           1.117
                                                  0.109
                                                          0.114
7
     2.708
023
                      3.489 0.812 | 0.129
     2.073
                1.868
                                           0.023
                                                  0.004
                                                          0.003
                                                                0.
8
000
9
     2.374
                2.258
                      5.097 0.904 | 0.721 0.730
                                                  0.092
                                                          0.100
                                                                0.
017
10
     0.684
                0.160
                      0.026 0.055 | -0.572 0.458 0.698 |
                                                          0.292 0.
148
       cos2
      0.412 |
1
2
      0.232
3
      0.670
4
      0.097
5
      0.000
      0.000
6
7
      0.002
8
      0.000
9
      0.002
10
      0.182
Variables
            Dim.1
                          cos2
                                 Dim.2
                                          ctr
                                                      Dim.3
                     ctr
                                               cos2
                                                              ctr
 cos2
デンプン粒 | -0.466 12.587 0.217 | 0.664 35.858 0.441 | -0.007 0.004
 0.000
鉱物
         | -0.364 7.696 0.133 | 0.306 7.614 0.094 | 0.801 64.597
 0.642
         0.670 26.035 0.449 | 0.629 32.212 0.396 | 0.082 0.683
細胞組織
 0.007
繊維
          0.872 44.058 0.760 | 0.231 4.329 0.053 | -0.006 0.004
 0.000
ほか
          | -0.407 | 9.624 | 0.166 | 0.496 | 19.988 | 0.246 | -0.587 | 34.711
 0.345
デンプン粒 |
鉱物
```

```
細胞組織 |
繊維 |
ほか |
res.pca$eig %>%
kable()
```

	eigenvalue	percentage of variance	cumulative percentage of variance		
comp 1	1.7240043	34.480085	34.48009		
comp 2	1.2290034	24.580068	59.06015		
comp 3	0.9940092	19.880184	78.94034		
comp 4	0.6924212	13.848425	92.78876		
comp 5	0.3605619	7.211238	100.00000		
# eigenvalues $は主成分の分散$, percentage of variancev $は寄与率$, cumulative percentage of variance が累積寄与率を示す					

スクリープロットを作成する fviz_screeplot() は、自動的に percentage of variance を y 値に出力する

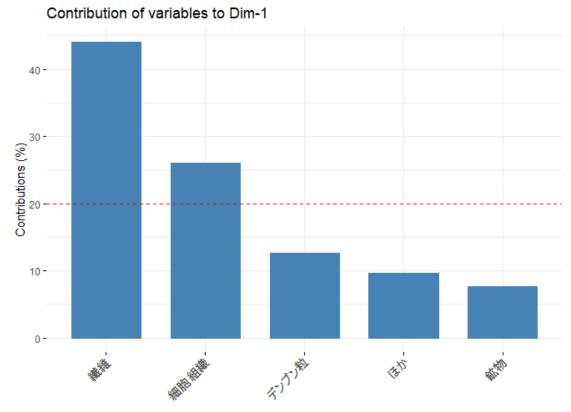
第1主成分が34%超,第2主成分も合わせると90%近い。

主成分に対する各変数の寄与率を出図

```
      fviz_contrib(res.pca,
      choice = "var", # 変数ごとの寄与率(ctr)

      axes = 1, # 主成分1を指定(変更すると各主成分が指定できる)

      top = 10) # 表示する変数の数を指定
```



ggsave(file = "Fig4.png", width = 6, height = 6, dpi = 300) # ファイルの保存

res.pca\$var\$contrib %>%

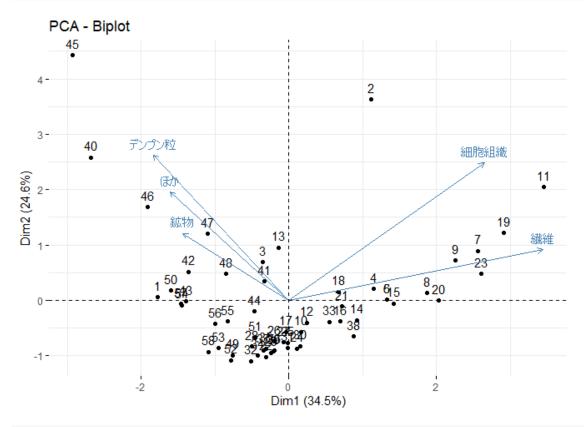
kable() # y 軸に指定されている"var"でres.pca オブジェクトの要素であるres.pc a\$var を引数に指定

	Dim.1	Dim.2	Dim.3	Dim.4	Dim.5
デンプン粒	12.587254	35.857544	0.0043032	47.1251195	4.425780
鉱物	7.695513	7.613503	64.5973511	17.8404525	2.253181
細胞組織	26.034852	32.212331	0.6832773	0.1188592	40.950680
繊維	44.057997	4.328647	0.0042373	0.3357157	51.273403
ほか	9.624384	19.987975	34.7108311	34.5798530	1.096956

第1主成分は繊維、細胞組織が高い寄与率を占めることから、第1主成分は「素材由来」と要約できる。

主成分得点の散布図を出力

fviz_pca_biplot(res.pca) # 主成分1 と 2 を表示, axes = C(o,o)) で別の主成分を表示可能



ggsave(file = "Fig5.png", width = 6, height = 6, dpi = 300) # $7r1\nu$ の保存

細胞組織の断片と繊維は同じ意味をもつ変数, すなわち素材由来の構成物であり, デンプン粒と鉱物, ほか(他の物質)は填料を示している。

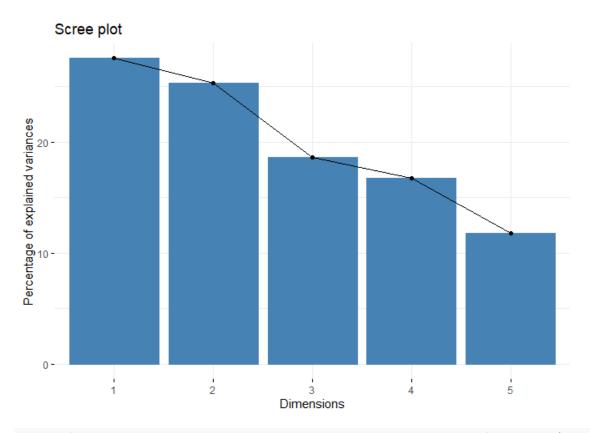
陽明文庫所蔵史料

tbs7 <- read_csv("yomei-compo.csv") # CSV ファイルの読み取り tbs7 # 読み込んだデータ

A tibble: 89 x 7

史料番号 紙素材 デンプン粒 鉱物 細胞組織 繊維 ほか <chr> <chr> <dbl> <dbl> <dbl> <dbl> <dbl> 1 11-391 コウゾ 97 28 20 3 1 2 11-392 コウゾ 0 0 62 0 0 3 11-393 コウゾ 5 1 119 0 0 4 11-394 コウゾ 74 10

```
5 11-396 コウゾ
                      0
                           1
                                 108
                                       0
                                            0
6 11-397 コウゾ
                      0
                           1
                                  58
                                       1
7 11-398 コウゾ
                      0
                           0
                                 91
                                       0
                                            0
8 11-399 コウゾ
                      0
                           0
                                 48
                                       0
                                           10
9 11-400 コウゾ
                     81
                           4
                                 95
                                       0
10 11-401 コウゾ
                      0
                           0
                                 19
                                       0
                                            5
# ... with 79 more rows
# 構成物の種類を実数型に変換
tbs8 <-
 tbs7 %>%
 filter(紙素材 %in% "コウゾ") %>% # コウゾだけを選択
 select(デンプン粒,鉱物,細胞組織,繊維,ほか) %>%
 mutate(
   デンプン粒 = as.numeric(デンプン粒), # デンプン粒を実数に変換
   鉱物 = as.numeric(鉱物),
                              # 鉱物を実数に変換
   細胞組織 = as.numeric(細胞組織), # 細胞組織を実数に変換
   繊維 = as.numeric(繊維), # 繊維を実数に変換
ほか = as.numeric(ほか)) # ほか (他の物質) を実数に変換
# 主成分分析を行うパッケージFactoMineR を読み込み、主成分分析を実行
library(FactoMineR)
# 主成分分析を実行
res.pca <-
 PCA(tbs8,graph = FALSE)
# 多変量解析の可視化に特化した factoextra パッケージ
library(factoextra)
# 各主成分の寄与率を描画
fviz_screeplot(res.pca)
```



```
ggsave(file = "Fig6.png", width = 6, height = 6, dpi = 300) # ファイルの保
存
# 主成分分析の概要を表示
summary(res.pca)
Call:
PCA(X = tbs8, graph = FALSE)
Eigenvalues
                      Dim.1
                              Dim.2
                                      Dim.3
                                              Dim.4
                                                     Dim.5
Variance
                      1.377
                                      0.930
                                              0.838
                                                     0.589
                              1.266
% of var.
                                             16.760
                                                     11.774
                     27.532
                             25.325
                                     18.609
Cumulative % of var.
                     27.532
                             52.857
                                            88.226 100.000
                                     71.466
Individuals (the 10 first)
         Dist
                 Dim.1
                          ctr
                                cos2
                                        Dim.2
                                                              Dim.3
                                                 ctr
                                                      cos2
ctr
      3.623 | 2.731 6.374 0.568 |
                                        1.492
                                              2.069
                                                     0.170
1
                                                              1.497
835
```

```
2
    0.903 | -0.761 0.495 0.710 | -0.239 0.053 0.070 | -0.400 0.
202
3
     514
4
     0.895 | -0.384 0.126 0.184 | -0.326 0.099 0.133 |
                                                   0.149 0.
028
     1.298 | -0.735  0.462  0.321  | 0.912  0.773
5
                                            0.494
                                                   0.515
                                                        0.
335
     1.294 | 0.302 0.078 0.055 | -0.203 0.038
6
                                            0.025
024
     1.036 | -0.965 0.796 0.867 | 0.048 0.002
                                            0.002 | 0.155
7
030
     1.015 | -0.201 0.035 0.039 | -0.583 0.316 0.330 | -0.348 0.
8
153
     6.146 | 3.290 9.250 0.287 | 4.873 22.063 0.629 | -1.045 1.
9
380
10
     1.419 | -0.228 0.045 0.026 | -0.767 0.547 0.292 | -1.063 1.
428
      cos2
1
     0.171
2
     0.196
3
     0.190
4
     0.028
5
     0.157
     0.011
6
7
     0.022
8
     0.118
9
     0.029
10
     0.561
Variables
           Dim.1
                       cos2
                             Dim.2
                                    ctr
                                        cos2
                                                Dim.3
                                                       ctr
                  ctr
 cos2
デンプン粒 | 0.650 30.655 0.422 | 0.432 14.755 0.187 | -0.262 7.365
0.069
鉱物
        0.396 11.373 0.157 | 0.756 45.131 0.571 | 0.032 0.112
0.001
        細胞組織
0.595
        0.541 21.281 0.293 | -0.470 17.409 0.220 | 0.375 15.128
繊維
0.141
ほか
        0.622 28.064 0.386 | -0.266 5.588 0.071 | 0.354 13.465
0.125
デンプン粒 |
鉱物
```

```
細胞組織 |
繊維 |
ほか |
res.pca$eig %>%
kable()
```

	eigenvalue	percentage of variance	cumulative percentage of variance		
comp 1	1.3766096	27.53219	27.53219		
comp 2	1.2662437	25.32487	52.85707		
comp 3	0.9304291	18.60858	71.46565		
comp 4	0.8380248	16.76050	88.22614		
comp 5	0.5886928	11.77386	100.00000		
# eigenvalues は主成分の分散, percentage of variancev は寄与率, cumulative p					
ercentage of variance が累積寄与率を示す					

スクリープロットを作成するfviz_screeplot()は、自動的にpercentage of variance をy 値に出力する

第1主成分が27%超,第2主成分も合わせると80%近い。

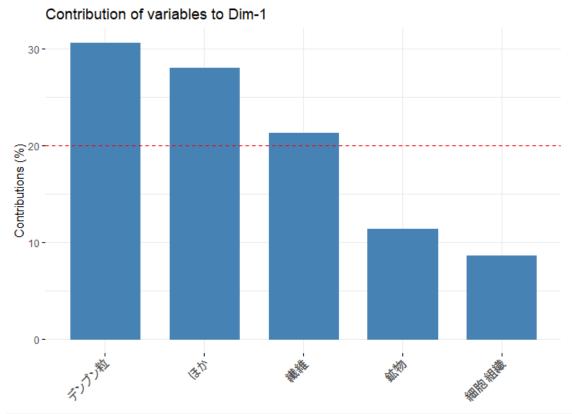
主成分に対する各変数の寄与率を出図

```
      fviz_contrib(res.pca,

      choice = "var", # 変数ごとの寄与率(ctr)

      axes = 1, # 主成分1を指定(変更すると各主成分が指定できる)

      top = 10) # 表示する変数の数を指定
```



ggsave(file = "Fig7.png", width = 6, height = 6, dpi = 300) # ファイルの保存

res.pca\$var\$contrib %>%

kable() # y 軸に指定されている"var"でres.pca オブジェクトの要素であるres.pc a\$var を引数に指定

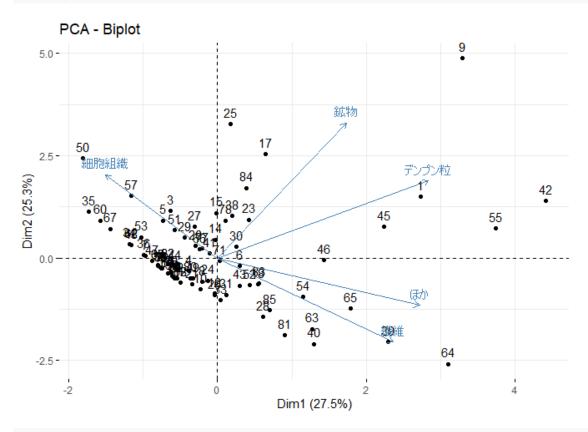
	Dim.1	Dim.2	Dim.3	Dim.4	Dim.5
デンプン粒	30.654628	14.755364	7.3649657	17.899973	29.325069
鉱物	11.372538	45.130749	0.1119077	6.230577	37.154228
細胞組織	8.627449	17.117302	63.9292627	3.562390	6.763597
繊維	21.281049	17.408648	15.1283692	29.670742	16.511191
ほか	28.064335	5.587937	13.4654946	42.636318	10.245915

第1主成分はデンプン粒,ほか(塵や墨などの物質)が高い寄与率を占めることから,第1主成分は「填料とたの物質の混合」と要約できる。

主成分得点の散布図を出力

主成分1 と2 を表示

fviz_pca_biplot(res.pca) # 主成分1 と 2 を表示, axes = C(o,o)) で別の主成分を表示可能



デンプン粒と鉱物は、同じ意味を持つ変数、すなわち填料である。細胞組織の断片、繊維とほか(他の物質)は異なる変数を示すため、素材由来の構成物だけの含有ではない。

料紙構成物の因子分析

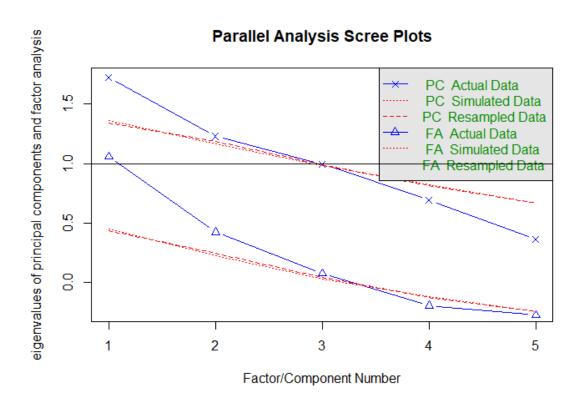
料紙構成物に共通して影響する因子を仮定,この因子から変数間の相関関係を考える。

松尾大社社蔵史料

因子分析を行うパッケージを読み込む

library(psych)

```
library(GPArotation)
tbs9<- read csv("matsunoo-compo.csv") # CSV ファイルの読み取り
tbs9 # 読み込んだデータ
# A tibble: 63 x 7
  目録番号 紙素材 デンプン粒 鉱物 細胞組織
                                   繊維
     <dbl> <chr>
                  <dbl> <dbl>
                                 <dbl> <dbl> <dbl>
        1 コウゾ
1
                       0
                                   0
                                         0
                                             41
                            0
        2 コウゾ
 2
                       0
                            0
                                  497
                                         6
                                             62
        3 コウゾ
 3
                       2
                            6
                                  263
                                         0
                                              0
        4 コウゾ
 4
                       0
                            1
                                  236
                                         5
                                              0
 5
        5 コウゾ
                       0
                            0
                                  207
                                         6
                                              0
        6 コウゾ
6
                       0
                            0
                                  207
                                         6
                                              0
        7 コウゾ
 7
                                         9
                       0
                            0
                                  348
                                              0
        8 コウゾ
 8
                       0
                            0
                                  194
                                         9
                                              0
 9
        9 コウゾ
                       0
                            0
                                  326
                                         8
                                              0
       10 宿紙
                                              0
10
                      20
                            0
                                   35
                                         4
# ... with 53 more rows
# 構成物の種類を実数型に変換
tbs10 <-
 tbs9 %>%
                             # コウゾだけを選択
 filter(紙素材 %in% "コウゾ") %>%
 select(デンプン粒,鉱物,細胞組織,繊維,ほか) %>%
 mutate(
   デンプン粒 = as.numeric(デンプン粒), # デンプン粒を実数に変換
   鉱物 = as.numeric(鉱物),
                               # 鉱物を実数に変換
   細胞組織 = as.numeric(細胞組織), # 細胞組織を実数に変換
   繊維 = as.numeric(繊維),
                                # 繊維を実数に変換
                                # ほか(他の物質)を実数に変換
   ほか = as.numeric(ほか))
# 構成物間の相関係数を出す
相関行列 <- cor(tbs10)
相関行列
          デンプン粒
                         鉱物
                                細胞組織
                                            繊維
                                                      ほか
デンプン粒 1.00000000 0.178117057 0.04013211 -0.2260588 0.251047101
鉱物
         0.17811706 1.000000000 -0.01007123 -0.1963919 0.006946198
細胞組織
         0.04013211 -0.010071233 1.00000000 0.5646413 -0.019583962
繊維
         -0.22605882 -0.196391894 0.56464126 1.0000000 -0.186244340
ほか
         0.25104710 0.006946198 -0.01958396 -0.1862443 1.000000000
```

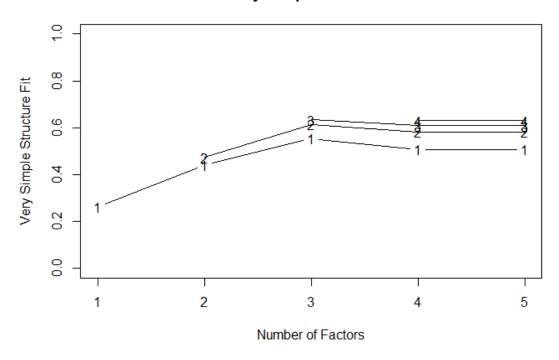


Parallel analysis suggests that the number of factors = 2 and the number of components = 1

vss(tbs8, n.obs=N, rotate="varimax")

Warning in fac(r = r, nfactors = nfactors, n.obs = n.obs, rotate = rotate,
 : An
ultra-Heywood case was detected. Examine the results carefully

Very Simple Structure



```
Very Simple Structure
Call: vss(x = tbs8, rotate = "varimax", n.obs = N)
VSS complexity 1 achieves a maximimum of 0.55 with
VSS complexity 2 achieves a maximimum of 0.61 with 3
The Velicer MAP achieves a minimum of NA with
                                                1 factors
BIC achieves a minimum of NA with 1 factors
Sample Size adjusted BIC achieves a minimum of NA with 2 factors
Statistics by number of factors
  vss1 vss2
              map dof
                        chisq prob sqresid fit RMSEA
                                                        BIC SABIC complex
1 0.26 0.00 0.086
                                       4.0 0.26 0.098 -13.1
                                                             2.68
                    5 9.1e+00
                               0.1
                                                                       1.0
2 0.44 0.47 0.179
                    1 1.1e+00
                               0.3
                                       2.8 0.47 0.027
                                                        -3.4 - 0.21
                                                                       1.2
3 0.55 0.61 0.412
                   -2 2.1e-09
                                       2.0 0.63
                                                   NA
                                                         NA
                                                               NA
                                                                       1.4
                                NA
4 0.51 0.58 1.000
                   -4 0.0e+00
                                NA
                                       2.0 0.63
                                                   NA
                                                         NA
                                                               NA
                                                                       1.4
5 0.51 0.58
               NA
                   -5 0.0e+00
                                NA
                                       2.0 0.63
                                                   NA
                                                         NA
                                                               NA
                                                                       1.4
   eChisq
             SRMR eCRMS eBIC
1 1.7e+01 1.0e-01 0.141 -5.3
2 1.3e+00 2.8e-02 0.087 -3.1
3 3.3e-09 1.4e-06
```

```
4 1.7e-18 3.2e-11
                    NA
                        NA
5 1.7e-18 3.2e-11
                    NA
                        NA
# 結果として, 平行分析では3 因子, MAP 法では1 因子, 適合度基準 (BIC) では2 因子
が良い。ここでは3因子で決める。
# 因子分析を行う
fa.result1 <- fa(tbs8,nfactors=3,fm="ML")</pre>
print(fa.result1, sort=T, cut=0.3) # 因子負荷が 0.3 以下の値を非表示
Factor Analysis using method = ml
Call: fa(r = tbs8, nfactors = 3, fm = "ML")
Standardized loadings (pattern matrix) based upon correlation matrix
          item
                 ML1
                      ML2
                            ML3
                                   h2
                                         u2 com
鉱物
             2 0.99
                                0.995 0.005 1.0
デンプン粒
            1
                     0.85
                               0.721 0.279 1.0
             5
ほか
                           0.68 0.465 0.535 1.0
繊維
                           0.32 0.145 0.855 2.0
             4
細胞組織
            3
                                0.061 0.939 2.7
                     ML1 ML2 ML3
SS loadings
                     1.03 0.75 0.60
Proportion Var
                     0.21 0.15 0.12
Cumulative Var
                     0.21 0.36 0.48
Proportion Explained 0.43 0.31 0.25
Cumulative Proportion 0.43 0.75 1.00
 With factor correlations of
    ML1 ML2 ML3
ML1 1.00 0.33 0.08
ML2 0.33 1.00 0.14
ML3 0.08 0.14 1.00
Mean item complexity = 1.6
Test of the hypothesis that 3 factors are sufficient.
The degrees of freedom for the null model are 10 and the objective func
tion was 0.22 with Chi Square of 18.17
The degrees of freedom for the model are -2 and the objective function w
as 0
The root mean square of the residuals (RMSR) is 0
The df corrected root mean square of the residuals is NA
The harmonic number of observations is 85 with the empirical chi square
 0 with prob < NA
```

The total number of observations was 85 with Likelihood Chi Square = 0 with prob < NA

Tucker Lewis Index of factoring reliability = 2.294 Fit based upon off diagonal values = 1 Measures of factor score adequacy

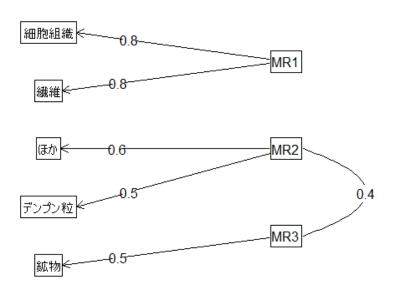
ML1 ML2 ML3
Correlation of (regression) scores with factors 1.00 0.86 0.71
Multiple R square of scores with factors 0.99 0.73 0.51
Minimum correlation of possible factor scores 0.99 0.47 0.02

因子負荷の可視化

fa.result1 = fa(tbs10, nfactors=3, fm="minres",rotate="oblimin",use="comp
lete.obs")

fa.diagram(fa.result1)

Factor Analysis



因子負荷量の表示

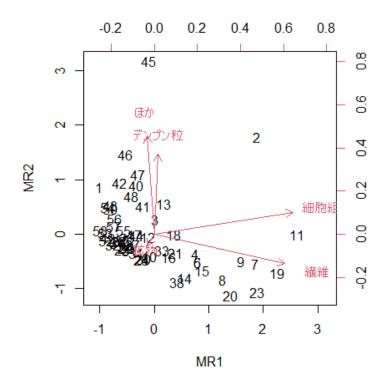
unclass(fa.result1\$loadings)

MR1MR2MR3デンプン粒0.022162350.463952000.2130674鉱物-0.04041092-0.068960460.5434480細胞組織0.802774360.126661550.1189321

```
繊維 0.75713597 -0.16936664 -0.1628024
ほか -0.04003187 0.56883444 -0.1576144
```

描画

biplot(fa.result1\$scores,fa.result1\$loading,cex=1)



陽明文庫所蔵史料の料紙構成物

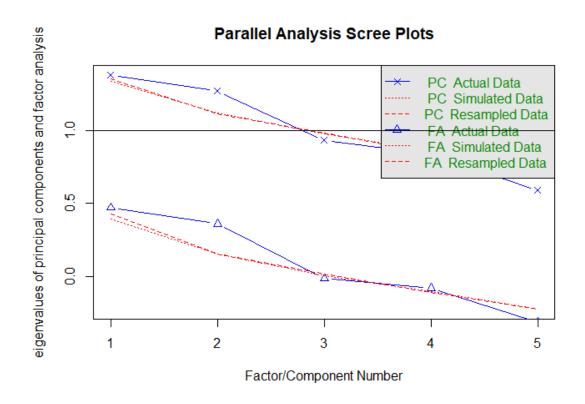
tbs11<- read_csv("yomei-compo.csv") # CSV ファイルの読み取り tbs11 # 読み込んだデータ

A tibble: 89 x 7

史料番号 紙素材 デンプン粒 鉱物 細胞組織 繊維 ほか

<chr></chr>	<chr></chr>	<dbl></dbl>	<dbl></dbl>	<dbl></dbl>	<dbl></dbl>	<dbl></dbl>
1 11-391	コウゾ	20	3	97	1	28
2 11-392	コウゾ	0	0	62	0	0
3 11-393	コウゾ	5	1	119	0	0
4 11-394	コウゾ	0	0	74	0	10
5 11-396	コウゾ	0	1	108	0	0
6 11-397	コウゾ	0	1	58	1	0
7 11-398	コウゾ	0	0	91	0	0
8 11-399	コウゾ	0	0	48	0	10

```
9 11-400 コウゾ
                   81
                        4
                              95
                                    0
                                        0
10 11-401 コウゾ
                                        5
                    0
                         0
                               19
                                    0
# ... with 79 more rows
# 構成物の種類を実数型に変換
tbs12 <-
 tbs11 %>%
 filter(紙素材 %in% "コウゾ") %>% # コウゾだけを選択
 select(デンプン粒,鉱物,細胞組織,繊維,ほか) %>%
 mutate(
  デンプン粒 = as.numeric(デンプン粒), # デンプン粒を実数に変換
                            # 鉱物を実数に変換
   鉱物 = as.numeric(鉱物),
                          # 細胞組織を実数に変換
   細胞組織 = as.numeric(細胞組織),
                            # 繊維を実数に変換
   繊維 = as.numeric(繊維),
   ほか = as.numeric(ほか))
                            # ほか(他の物質)を実数に変換
# 構成物間の相関係数を出す
相関行列 <- cor(tbs12)
相関行列
        デンプン粒
                     鉱物
                           細胞組織
                                      繊維
                                               ほか
デンプン粒 1.00000000 0.29252650 -0.07469807 0.11404069 0.06666722
鉱物
        0.29252650 1.00000000 0.10766770 -0.09679362 0.07799736
細胞組織
       繊維
        0.11404069 -0.09679362 -0.09181340 1.00000000 0.21947530
ほか
        0.06666722 0.07799736 -0.11933025 0.21947530 1.00000000
# 因子数を決める
fa.parallel(tbs12,SMC=TRUE) # スクリープロットを表示
```



Parallel analysis suggests that the number of factors = 0 and the number of components = 0

```
vss(tbs10, n.obs=N, rotate="varimax")
```

Warning in fa.stats(r = r, f = f, phi = phi, n.obs = n.obs, np.obs = np.o bs, :

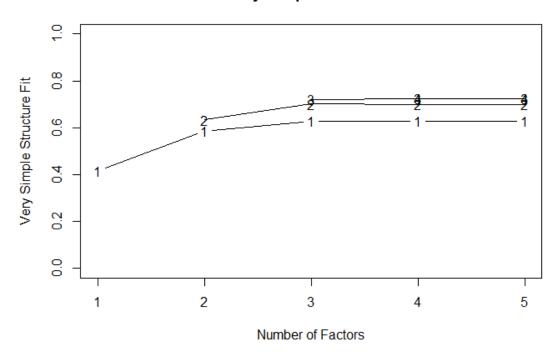
The estimated weights for the factor scores are probably incorrect. Try a different factor score estimation method.

Warning in fac(r = r, nfactors = nfactors, n.obs = n.obs, rotate = rotate,
 : An

ultra-Heywood case was detected. Examine the results carefully

Warning in fac(r = r, nfactors = nfactors, n.obs = n.obs, rotate = rotate,
 : An
ultra-Heywood case was detected. Examine the results carefully

Very Simple Structure



```
Very Simple Structure
Call: vss(x = tbs10, rotate = "varimax", n.obs = N)
VSS complexity 1 achieves a maximimum of 0.63 with
VSS complexity 2 achieves a maximimum of 0.7 with 3 factors
The Velicer MAP achieves a minimum of NA with
                                                  factors
BIC achieves a minimum of NA with 1 factors
Sample Size adjusted BIC achieves a minimum of NA with 2 factors
Statistics by number of factors
  vss1 vss2
              map dof
                        chisq prob sqresid fit RMSEA
                                                        BIC SABIC complex
1 0.42 0.00 0.096
                    5 7.5e+00 0.19
                                       3.5 0.42 0.091 -12.8 2.892
                                                                      1.0
2 0.59 0.63 0.181
                    1 9.5e-01 0.33
                                       2.2 0.63 0.000
                                                       -3.1 0.032
                                                                      1.2
3 0.63 0.70 0.394
                   -2 2.2e-10
                                       1.7 0.72
                                                   NA
                                                         NA
                                                               NA
                                                                      1.3
4 0.63 0.70 1.000
                   -4 0.0e+00
                                NA
                                       1.7 0.73
                                                   NA
                                                         NA
                                                               NA
                                                                      1.3
                                       1.7 0.73
5 0.63 0.70
               NA
                   -5 0.0e+00
                                NA
                                                   NA
                                                         NA
                                                               NA
                                                                      1.3
   eChisq
             SRMR eCRMS eBIC
1 1.2e+01 1.0e-01 0.143 -8.5
2 9.0e-01 2.8e-02 0.088 -3.2
3 1.1e-10 3.1e-07
```

```
4 2.6e-20 4.8e-12
                    NA
                        NA
5 2.6e-20 4.8e-12
                    NA
                        NA
# 結果として, 平行分析では3 因子, MAP 法では1 因子, 適合度基準 (BIC) では2 因子
が良い。ここでは3因子で決める。
# 因子分析を行う
fa.result2 <- fa(tbs12,nfactors=3,fm="ML")</pre>
print(fa.result2, sort=T, cut=0.3) # 因子負荷が 0.3 以下の値を非表示
Factor Analysis using method = ml
Call: fa(r = tbs12, nfactors = 3, fm = "ML")
Standardized loadings (pattern matrix) based upon correlation matrix
          item
                 ML1
                      ML2
                                   h2
                            ML3
                                         u2 com
鉱物
             2 0.99
                                0.995 0.005 1.0
デンプン粒
            1
                     0.85
                               0.721 0.279 1.0
             5
ほか
                           0.68 0.465 0.535 1.0
繊維
                           0.32 0.145 0.855 2.0
             4
細胞組織
            3
                                0.061 0.939 2.7
                     ML1 ML2 ML3
SS loadings
                     1.03 0.75 0.60
Proportion Var
                     0.21 0.15 0.12
Cumulative Var
                     0.21 0.36 0.48
Proportion Explained 0.43 0.31 0.25
Cumulative Proportion 0.43 0.75 1.00
 With factor correlations of
    ML1 ML2 ML3
ML1 1.00 0.33 0.08
ML2 0.33 1.00 0.14
ML3 0.08 0.14 1.00
Mean item complexity = 1.6
Test of the hypothesis that 3 factors are sufficient.
The degrees of freedom for the null model are 10 and the objective func
tion was 0.22 with Chi Square of 18.17
The degrees of freedom for the model are -2 and the objective function w
as 0
The root mean square of the residuals (RMSR) is 0
The df corrected root mean square of the residuals is NA
The harmonic number of observations is 85 with the empirical chi square
 0 with prob < NA
```

The total number of observations was 85 with Likelihood Chi Square = 0 with prob < NA

Tucker Lewis Index of factoring reliability = 2.294
Fit based upon off diagonal values = 1
Measures of factor score adequacy

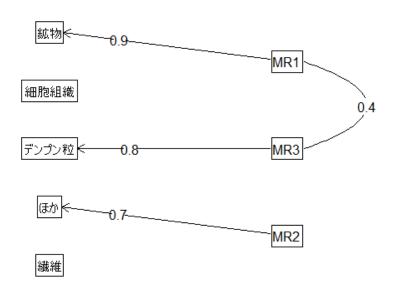
ML1 ML2 ML3
Correlation of (regression) scores with factors 1.00 0.86 0.71
Multiple R square of scores with factors 0.99 0.73 0.51
Minimum correlation of possible factor scores 0.99 0.47 0.02

因子負荷の可視化

fa.result2 = fa(tbs12, nfactors=3, fm="minres",rotate="oblimin",use="comp
lete.obs")

fa.diagram(fa.result2)

Factor Analysis



因子負荷量の表示

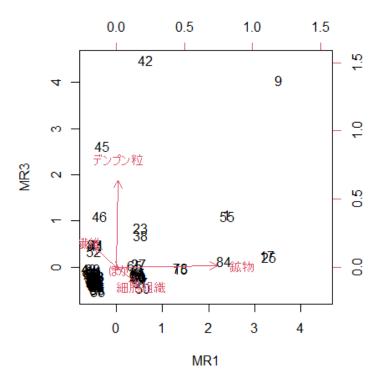
unclass(fa.result2\$loadings)

MR1MR3MR2デンプン粒0.016545690.79113716-0.009188201鉱物0.922996970.011699300.008554870細胞組織0.18572833-0.14466103-0.163285306

繊維 -0.20071818 0.18314100 0.295960324 ほか 0.02345439 -0.01816758 0.737600749

描画

biplot(fa.result2\$scores,fa.result2\$loading,cex=1)



松尾大社社蔵史料の料紙構成物における時期的変化

細胞組織 • 柔細胞

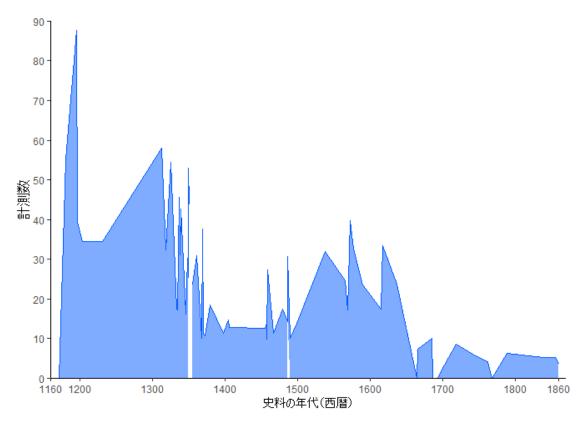
Fig3(1)作成のためのCSV ファイルの読み取り tissue <- read_csv("matsunoo_tissue-fibre.csv")

head(tissue) # データフレームの上 6 行を表示

A tibble: 6 x 4

史料名西曆 細胞組織 繊維<chr><dbl>1 池田庄立券文(案)1171ØØ2 左辨官下文118155.2Ø.673 源頼朝下知状119687.7Ø

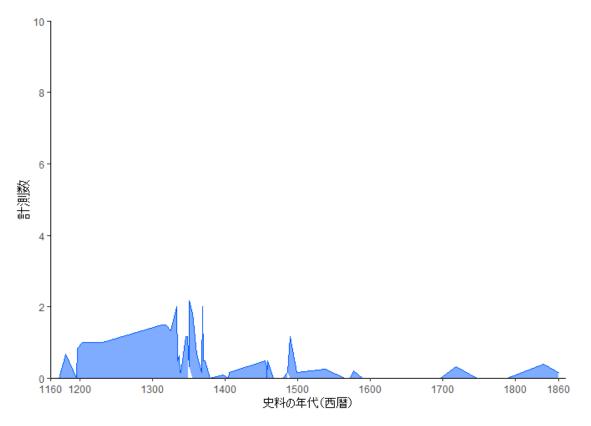
```
4 沙彌證阿讓状
                         39.3 0.83
                  1197
5 左辨官下文(残欠)
                 1204
                         34.5 1
                  1231
6 兩六波羅下知状
                         34.5 1
names(tissue) # tissue-fibre に含まれるすべての変数名
[1] "史料名" "西曆"
                     "細胞組織" "繊維"
dim(tissue) # tissue-fibre に含まれる観測数と変数の数を表示させる
[1] 63 4
ggplot(tissue, aes(x = 西暦, y = 細胞組織)) +
 geom_area(colour = "#005aff", fill ="#005aff", alpha=0.5) + # 網掛け領
域付きの折れ線グラフの作成
 scale_x_continuous(breaks = c(1160,1200,1300,1400,1500,1600,1700,1800,1
860),
                  limits = c(1160,1870), expand = c(0,0)) + # X \neq 0
盛りを指定
 scale_y_continuous(breaks = c(0,10,20,30,40,50,60,70,80,90), limits = c
(0,90), expand = c(0,0))+ # Y 軸の目盛りを指定
 labs(x = "史料の年代(西暦)", y = "計測数") + # ラベルの指定
theme classic()
```



ggsave(file = "Fig15.png", width = 6, height = 4, dpi = 300) # ファイルの保存

調査史料では 1300 年代と 1600 年代後半に画期がある。

繊維



ggsave(file = "Fig16.png", width = 6, height = 4, dpi = 300) # ファイルの 保存

調査史料では1500年代以降は減少傾向。

現生デンプン粒標本と料紙のデンプン粒の比較

松尾大社社蔵史料の料紙に含有されたデンプン粒

Fig1 作成のためのCSV ファイルの読み取り starch <- read_csv("matsuono_ryoshi-starch.csv")

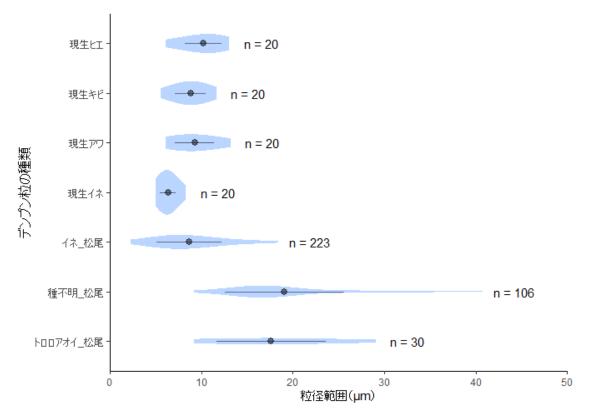
head(starch) # データフレームの上6 行を表示

A tibble: 6 x 2

デンプン粒の種類 粒径範囲

<chr><chr>1 現生アワ102 現生アワ11.53 現生アワ7.694 現生アワ8.46

```
5 現生アワ
                  11.5
6 現生アワ
                   7.69
names(starch) # starch に含まれるすべての変数名
[1] "デンプン粒の種類" "粒径範囲"
            # starch に含まれる観測数と変数の数を表示させる
dim(starch)
[1] 439
        2
n fun <- function(x){</pre>
return(data.frame(y = max(x)+3.5, label = paste0("n = ", length(x))))
ggplot(starch, aes(x = デンプン粒の種類, y = 粒径範囲)) +
 geom_violin(trim=T,fill="#2F80FF",linetype="blank",alpha=I(1/3),adjust=
2.5)+ # バイオリンプロット作成
 stat_summary(geom="pointrange",fun = mean, fun.min = function(x) mean
(x)-sd(x),
             fun.max = function(x) mean(x)+sd(x), size=.5,alpha=.5)+ #
平均値±標準偏差をプロット
 stat summary(fun.data = n fun, geom = "text",colour="black",size=4)+ #
各グループのデータ数を最大値の位置に追加
 scale_y = continuous(breaks = c(0,10,20,30,40,50), limits = c(0,50), expa
nd = c(0,0))+ # 数値軸の目盛りを指定
 scale_x_discrete(limit=c("トロロアオイ_松尾","種不明_松尾","イネ_松尾","現
生イネ","現生アワ","現生キビ","現生ヒエ")) +
 # 文字軸の順番を指定
 coord_flip() + # 90 度横向きにする
 labs(x = "デンプン粒の種類", y = "粒径範囲 (μm)") + # ラベルの指定
 theme classic()
```



ggsave(file = "Fig17.png", dpi = 300) # ファイルの保存

料紙におけるデンプン粒の粒径は分散が大きい。

陽明文庫所蔵史料の料紙に含有されたデンプン粒

Fig2 作成のためのCSV ファイルの読み取り starch <- read_csv("yomei-starch.csv")

head(starch) # データフレームの上 6 行を表示

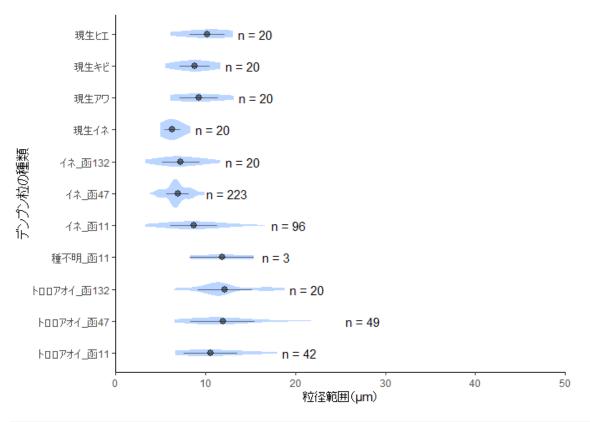
A tibble: 6 x 2

デンプン粒の種類 粒径範囲

	<chr></chr>	<dbl< th=""></dbl<>
1	現生アワ	10
2	現生アワ	11.5
3	現生アワ	7.69
4	現生アワ	8.46
5	現生アワ	11.5
6	現生アワ	7.69

names(starch) # starch に含まれるすべての変数名

```
[1] "デンプン粒の種類" "粒径範囲"
dim(starch)
            # starch に含まれる観測数と変数の数を表示させる
[1] 533
        2
n fun <- function(x){</pre>
return(data.frame(y = max(x)+2.5, label = paste0("n = ", length(x))))
ggplot(starch, aes(x = デンプン粒の種類, y = 粒径範囲)) +
 geom violin(trim=T,fill="#2F80FF",linetype="blank",alpha=I(1/3),adjust=
2.5)+ # バイオリンプロット作成
 stat summary(geom="pointrange",fun = mean, fun.min = function(x) mean
(x)-sd(x),
             fun.max = function(x) mean(x)+sd(x), size=.5,alpha=.5)+ #
平均値±標準偏差をプロット
 stat_summary(fun.data = n_fun, geom = "text",colour="black",size=4)+ #
各グループのデータ数を最大値の位置に追加
 scale_y = c(0,10,20,30,40,50), limits = c(0,50), expa
nd = c(0,0) + # 数値軸の目盛りを指定
 scale_x_discrete(limit=c("トロロアオイ_函 11","トロロアオイ_函 47","トロロ
アオイ_函 132","種不明_函 11","イネ_函 11","イネ_函 47","イネ_函 132","現生イネ
","現生アワ","現生キビ","現生ヒエ")) + # 文字軸の順番を指定
 coord_flip() + # 90 度横向きにする
 labs(x = "デンプン粒の種類", y = "粒径範囲 (μm)") + # ラベルの指定
theme_classic()
```



ggsave(file = "Fig18.png", dpi = 300) # ファイルの保存

料紙におけるデンプン粒の粒径は分散が大きい。

引用文献

藤本滋生. 1994. 澱粉と植物-各種植物澱粉の比較-. 葦書房, 東京. 渋谷綾子. 2010. 日本列島における現生デンプン粒標本と日本考古学研究への応用-残存デンプン粒の形態分類をめざして. 植生史研究 18(1): 13-27.